

# Burning Mysterious Love

A20AB024 Mei Katsumata

～燃える神秘の愛～



## 1.Introduction

大学4年間、サークル活動で取り組んできたアカペラを、「燃える神秘の愛」「限りなき挑戦」といった前向きで情熱的な花言葉を持つ赤いガーベラの花に例え、アカペラの衣装制作を進めた。

## 2.Image Board

「燃える神秘の愛」「前を向き続ける自信のある女性」をテーマに設定し、素材を収集してイメージボードを作成した。

燃える様子を深い赤色、神秘的な要素をパールビーズ(真珠)を用いて表現した。



## 3.Design

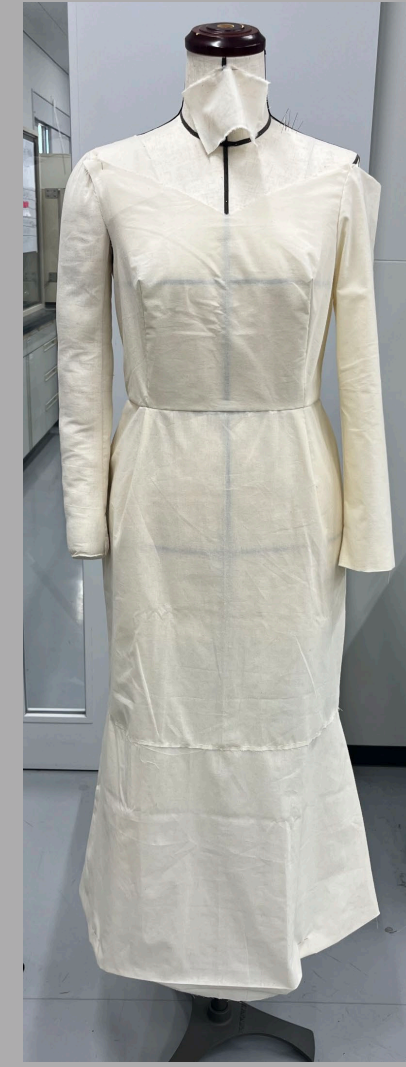
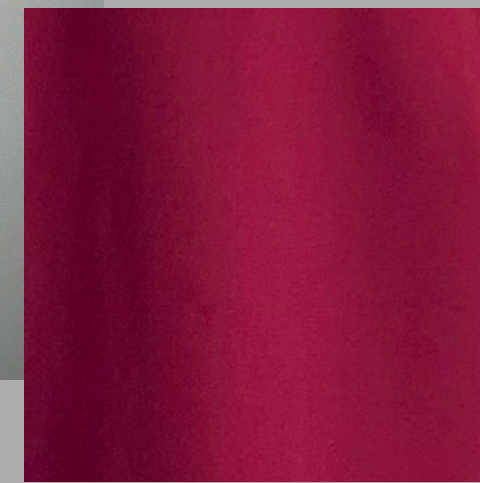
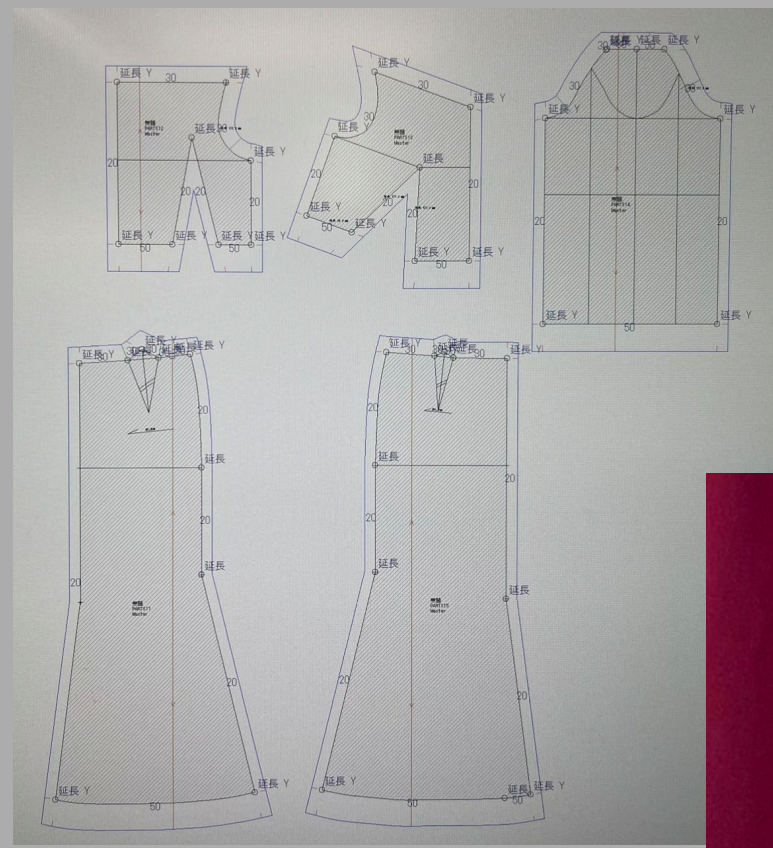
イメージボードを元に80体の衣装をデザインし、その中から20体選び、更に1体につき5つのカラーパターンを作成した。イメージカラーをレッド、ダークレッド、ブラック、ホワイトの4色に定め、その4色を用いてデザインした。

次に、その5つのカラーパターンから一番良いものを直感で選び、選んだ20体を清書し、最終的にその中から1体制作するデザインを選出した。



“Burning”をダークレッドで表現し、パールビーズで神秘的な要素も加えた。アカペラの演奏で重要な「表情」と「ステージング」を意識し、顔回りを開けて表情が明るく見えるようにした。ステージングでは、マイクを持っていない腕の動きが重要となるため、腕の動きが華やかに見えるように、パールラインを袖に1列あしらった。

## 4.Production



### ①パターン設計

デザイン画を元にアパレルCADを使ってパターンを設計した。

### ②生地選定

体の曲線に密着するニット生地や、胸元のドレープ部が華やかに見えるチュール生地を使う案もあったが色と光沢感がイメージに合っている事から、ポリエステル100%のツイル生地に決定した。

### ③仮縫い

シーティングで実際に作り、理想と形が違う部分の修正を行った。アパレルCADで設計したパターンよりも、袖を細くし、胸ダーツの位置を変更した。

### ④本縫い

仮縫いで修正したパターンを元に制作を進めた。

## 5.Conclusion

仮縫いの際に理想の形にならず。パターンの修正に何度も苦労したが、生地選定からパターン設計まで自分のこだわりを詰めたため、イメージにかなり近い作品を作ることができた。

